

広報 あかいけ

町人口	
12月末日住民登録 (前月比)	
人口	9,645 (-13)
男	4,592 (-9)
女	5,053 (-4)
世帯	3,179 (+7)

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎ (代表) 2004
印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行



【整然とした赤池町消防団員のみなさん】

わが町を守る

火消し男の心意気

下田川4ヵ町連合消防出初め式

58年
2月
No.241

下田川4ヵ町連合消防出初め式が、1月9日、金田小学校校庭で行われました。寒風の中、赤池、金田、方城、糸田から約470人の消防団員と、22台の消防車が参加、その雄姿を披露しました。式では、人員服装点検、機械器具点検、分列行進、各表彰状の授与などが行われ、日ごろの訓練の成果を発揮しました。赤池町からは、121人が参加し、表彰された団員は、次の方です。
【福岡県消防協会会長表彰】
《優良消防団員表彰》
太田政文(1分団団員)、松枝信昭(2分団団員)、奥永栄一(3分団団員)、堀池政夫(

4分団班長)、今川真行(5分団団員)、小松義信(6分団団員)、北川勝(本部班長)
《永年勤続表彰》
城野三男(本部副本部長)40年
【県消防協会田川郡支部長表彰】
亀谷徳光(3分団部長)、河崎義美(4分団部長)
【町長表彰】
城野豊文(1分団部長)、谷頭浩二(2分団部長)、小島京二(3分団部長)、木下繁(4分団団員)、長野誠一(5分団団員)、小源寺正文(6分団団員)、中原和義(本部団員)

【敬称略】

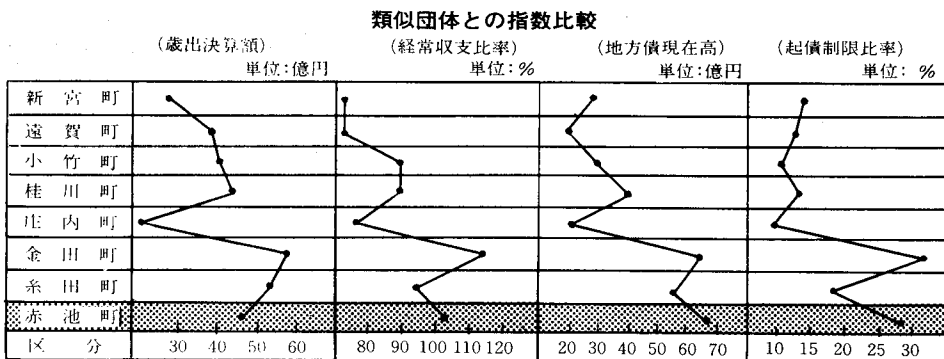
2月の よみと行事



- 和名 如月(きさらぎ)
立春がすぎたのに寒い、とばかりに衣服を重ねる。そのため二月を着更衣という。
- 1日(火) 覚せい剤・麻薬事犯取締り強化月間
 - 2日(水) 成人病予防週間
 - 3日(木) 節分
 - 4日(金) 立春
 - 7日(月) 心配ごと相談(福祉センター)
 - 8日(火) 北方領土の日
 - 11日(金) 建国記念日
 - 14日(月) 聖バレンタインデー
 - 15日(火) エンゼルケイズ締切り
 - 16日(水) 昭和五十七年分所得税の確定申告(ま3月15日)
 - 17日(木) 心配ごと相談(福祉センター)
 - 18日(金) 三種混合(町民会館)
 - 21日(月) 乳児保育相談(町民会館)
 - 22日(火) 税務署の納税相談(商工会)
 - 25日(水) 胃ガン検診(中央研修所)
 - 28日(月) 献血(赤池町役場)
- 春の全国火災予防運動

2月は国民健康保険税6期分の納税月です

(とじて保存してください)



財源確保 8年

赤池町の財政力指数 (決算統計による)

経常収支比率	地方債現在高	公債費比率	起債制限比率
104.8%	69億3,500万円	30.5%	28.9%

経常収支比率

人件費や物件費などの経常経費に対し、町税や地方交付税などの経常的一般財源がどれだけ使われたかを示す比率。70%~80%が標準で100を超えると収入以上に支出しているということになります。

公債費比率

町債償還に要した経費が標準財政規模(普通交付税や町税のように常に収入される経費で標準的な行政活動を行うため必要な一般財源の総量を表わす)に占める割合を表わす数字。

通常15%を超えると黄信号、20%を超えると赤信号といわれています。

起債制限比率

公債費比率を出すときに、災害復旧、同和、過疎事業等の事業で実施した借金の一部が除かれますが、さらに失業対策で実施された緊就、開就、特開事業や学校建設等の事業による借金の一部を除いて算出された比率。

20%を超すと借金(町債)を制限されます。

- ### 昭和56年度事業の主なもの
- 失業対策事業 七億七千九百万円
 - 特開事業(赤池総合グラウンド拡張工事) 〇開就事業(同グラウンド進入道路新設工事) 〇緊就事業(入分切寄線道路舗装工事)
 - 農業基盤整備事業 一千四百百万円
 - 平の池ため池改良工事
 - 公営住宅建設事業 九百万円
 - 大浦団地二十戸(事業費一億三千九百万円が繰越し)
 - 過疎対策事業 五千百万円

昭和56年度特別会計決算の状況

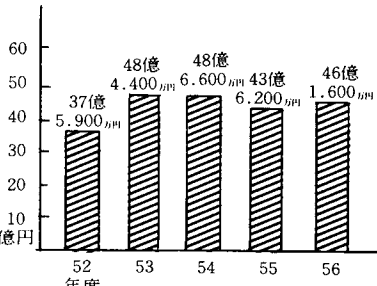
区分	歳入	歳出	差引額	累積額
町立病院事業	4億0,016万円	4億5,031万円	△5,015万円	△3億0,399万円
上水道事業	1億6,526万円	2億0,258万円	△3,732万円	△3億4,720万円
国民健康保険事業	3億4,260万円	3億3,311万円	949万円	
住宅新築資金等貸付事業	3億3,163万円	3億1,763万円	1,400万円	

- 尾集会所新築工事 〇上寿坊主ヶ谷線道路新設工事
- 同和対策事業 四億七千八百百万円
- 防火水槽、ガードレール等設置工事 〇農道、ため池改良工事 〇共同利用農機具購入 〇二反ヶ浦松本線道路新設工事(事業費一億四千八百万円が繰越し)
- 土地取得事業 五千八百百万円
- 国鉄用地払い下げ
- 災害復旧事業 二千四百万円
- 道路、農業基盤、ポンプ設置
- その他町単独事業 一千六百万円
- 皿山飲料水排水工事 〇観光施設工事
- 五十五年度からの繰越事業 三億六千九百万円
- 平の池改良工事
- 市場集会所新築工事 〇納骨堂、墓地移転
- ※ 繰越事業 〇当該年度に事業が完了しないため、次年度へ完了しなかった経費を繰越して支出する事業。

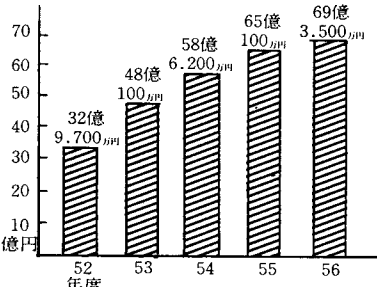


【昭和56年度から58年度まで3ヵ年計画で工事が進む町道二反ヶ浦～松本線道路改良工事】

◎歳出決算額の伸び(一般会計)



◎町債の現在高(普通会計)

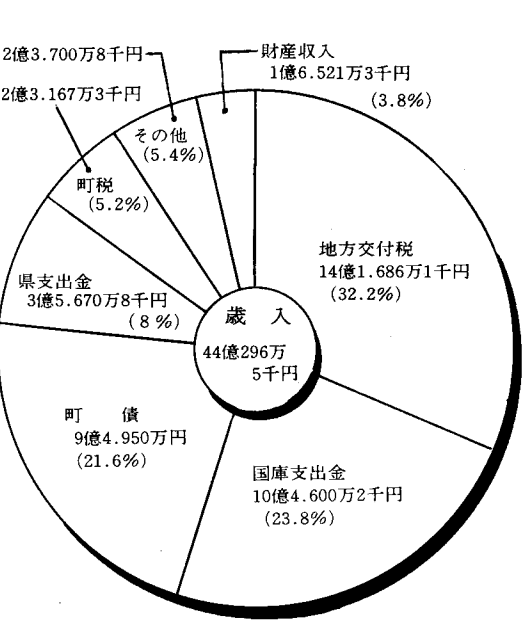


保に苦慮する町財政 連続の赤字決算



昭和56年度財政公表

昭和56年度一般会計歳入歳出決算状況



十二月定例議会で、昭和五十六年度の一般会計決算が認定されました。歳入は、四十四億二千九百六十五千円、昨年より約二億二千万円ほどの伸びています。歳出も四十六億千六百四十一万二千円、昨年より約二億五千万円ものびとなっています。この差引に翌年度の繰越財源四百二十八万二千円を控除すると実質収支額は、二億一千七百七十二万九千九百九十九円となり、五十六年度も依然として赤字財政となっています。この赤字額は、五十七年度の歳入を繰り上げて歳入不足を補いました。町は、極度の財政逼迫状態に陥っていますが、昭和五十六年度の決算でも、職員給与の昇給を遅らせたり、各種補助金の削減や公共料金の値上げ、事業の縮小など、けんめいの努力を続けました。しかし依然として赤字体制で、特に公債費の割合は、五十五年年度の十九、一パーセントに対して二十四、二パーセントと、借金の返済に追われている財政状態となっています。現在、隣の金田町、方城町は、財政再建団体の承認を受け、再建に取り組んでいます。赤池町は、町独自の自主再建で、財政の建て直しに努力しています。今後とも、皆さんのご協力と、ご理解をお願いします。



町民1人当たりの使い道

